

全 建 アンケート

－ 中東情勢に伴う建設資材の需給に関する調査（6月期）－
〔速報版〕

令和8年7月2日



調査概要

【調査の目的】

中東情勢の影響等により、各種建設資材において価格改定や調達に対する懸念が継続して生じている状況を踏まえ、令和8年5月の調査に引き続き、現時点における最新の建設資材の調達状況等を把握することを目的として実施する。

【調査の内容】

「全国建設業協会統一様式 おそれ情報通知書」に記載している主要な資機材に加え、今般の中東情勢の影響が大きいと考えられる資材を追加した計72種の建設資材について、現在生じている課題及び将来の見通し・要望事項を調査する。

【実施概要】

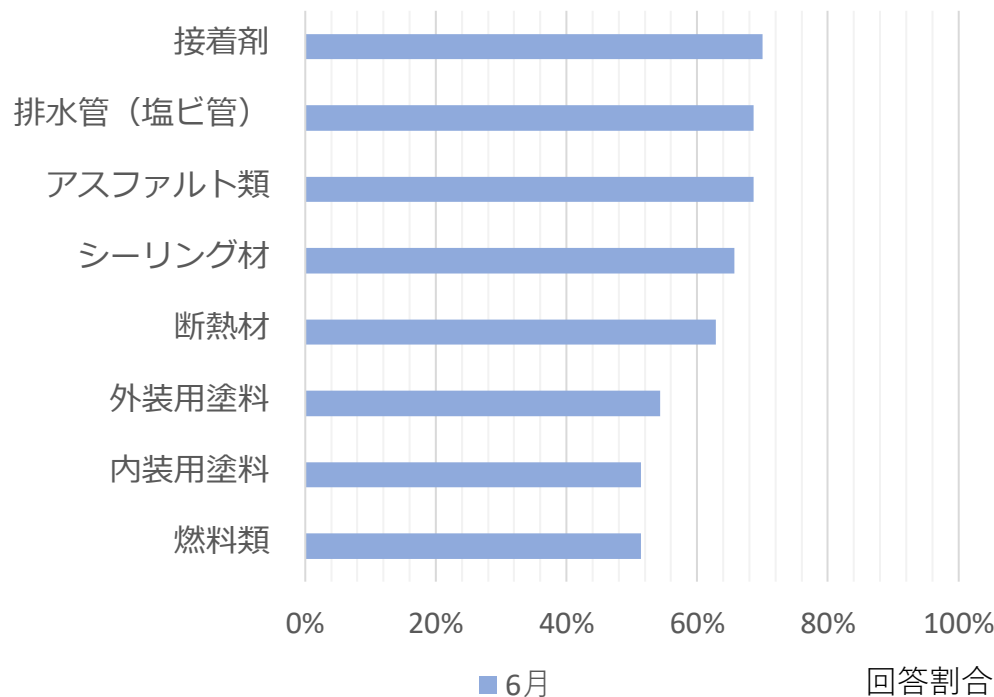
- ・ 調査期間 令和8年6月15日～22日
- ・ 調査対象 47都道府県協会の会員企業のうち、資本金5,000万円以上の企業1社及び資本金5,000万円未満の企業1社を各協会で選定し、計94社を調査対象とした。回答企業数は70社。
(速報版として集計するため、6月22日までに回答のあった70社で集計を実施)
- ・ 本調査では、全国的な状況及び地域毎の状況の差異を把握するため、4月及び5月の調査対象と異なり、全国からバランス良く調査対象企業を選定した。

価格高騰が生じている建設資材

接着剤、排水管（塩ビ管）、アスファルト類、シーリング材、断熱材、外装用塗料・内装用塗料など、石油化学系資材を中心に幅広い資材で価格高騰の回答が多く寄せられた。原油・ナフサ価格の上昇や運搬費の上昇を背景に、建設資材全般で価格高騰が続いている。

価格高騰が生じている主な建設資材

（中東情勢の悪化前（2月）との比較）



（会員から寄せられた価格高騰に関する状況）

■石油化学系資材の価格高騰

- ・防水材料、シーリング材が30～40%アップ、塗料及びシンナーが25～35%アップ
- ・断熱材が前年比40%上昇、アスファルト防水材料30%上昇、塗装材（EP・ウレタン）30%上昇
- ・シーリング材は4月から20%以上の値上がり、接着剤は2倍に上昇との回答も

■塩ビ管・アスファルト等の価格上昇

- ・塩ビ管は5月7日以降の出荷分より30%の値上げ
- ・アスファルト合材が前年同期比で約40%上昇、As合材は前年度比+30%以上

■断熱材の価格上昇

- ・断熱材価格が直近で4割上昇、押出成形ポリスチレンフォーム保温板は前年同期比で40%上昇

■その他

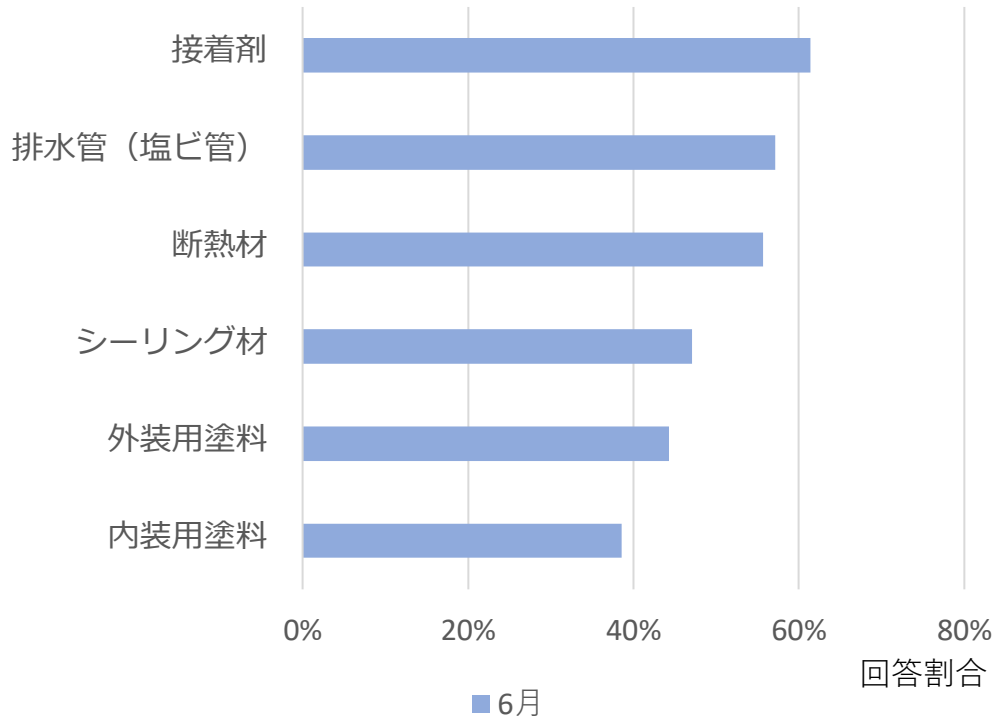
- ・全資材の運搬費上昇による価格上昇、鋼材10～20%、電線・設備5～15%程度の上昇も発生

※ 上昇率は、回答の平均的な値を掲載

入荷の遅延が生じている建設資材

接着剤、排水管（塩ビ管）、断熱材、シーリング材、外装用塗料・内装用塗料において入荷遅延の回答が多く寄せられた。塗料・接着剤メーカーの出荷制限や、塩ビ管・断熱材の納期長期化が継続している。

入荷遅延が生じている主な建設資材



（会員から寄せられた入荷遅延に関する状況）

■ 塗料・接着剤

- ・ 塗料メーカーで出荷制限があり、納期が通常の1～2週間に対し1ヵ月程度要する
- ・ 防水材、接着剤、シーリング材も出荷制限あり、納期が1週間から4週間に延長

■ 断熱材の納期長期化

- ・ 断熱材が不足し、納期が1ヵ月遅延、メーカーで出荷制限があり1ヵ月以上要する事例も
- ・ 押出成形ポリスチレンフォーム保温板の納入期間が不透明（納期不明～1ヵ月程度）

■ 塩ビ管・配管系の納期不安定

- ・ 塩ビ管は通常納期1～2週間だが、現在は発注してからでないと納期回答ができない状況
- ・ 塩化ビニル管の出荷調整あり、小規模業者は工事日直近まで回答がない事例も

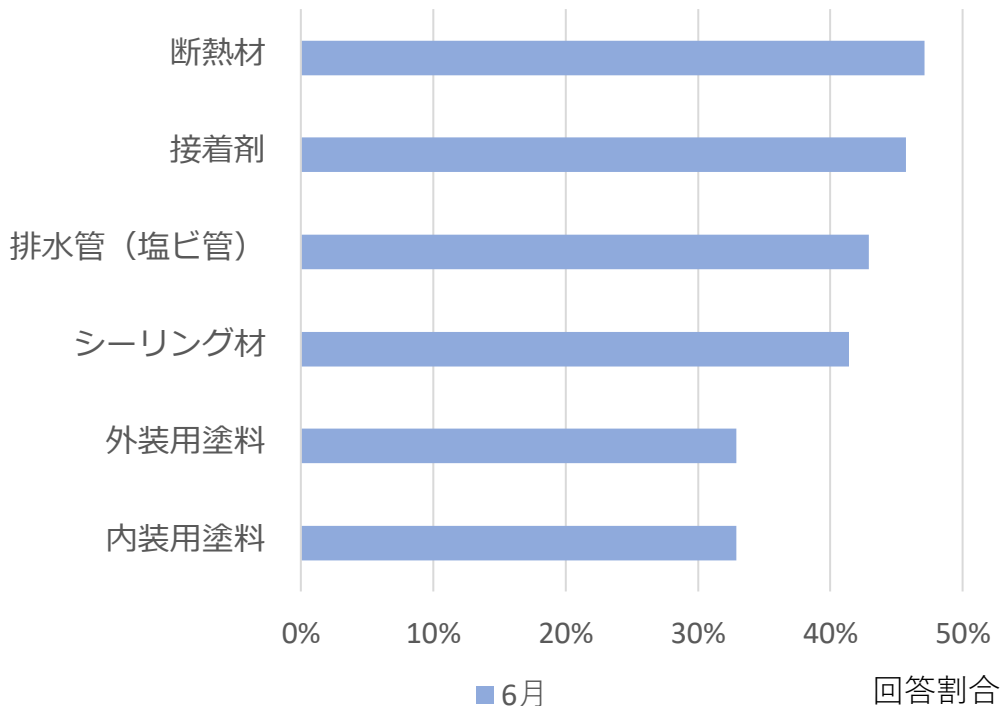
■ その他

- ・ 機械設備ポンプが受注後納期回答で納期1ヵ月に対し3ヵ月要する。
- ・ ユニットバス2ヵ月程度の遅れ
- ・ 鋼製建具が1ヵ月程度の遅れ。

供給不足・制限が発生している建設資材

断熱材、接着剤、排水管（塩ビ管）、シーリング材、外装用塗料・内装用塗料において供給不足・制限の回答が多く寄せられた。ウレタンフォーム断熱材の販売停止や塩ビ管の出荷停止・受注制限が継続している。

供給不足・制限が発生している建設資材



(会員から寄せられた供給不足・制限に関する状況)

■ 断熱材の供給制限

- ・ウレタンフォーム断熱材が当面販売停止。
必要数量の確保が困難、かつ再開の時期が不明
- ・断熱材のネオマフォームは通常の50%の供給にとどまる

■ 接着剤・塗料系の供給制限

- ・接着剤・ポリフィルム・合板に出荷制限あり
- ・シーリング材に制限がかかり、必要数量の20%程度の入荷以降は不透明

■ 塩ビ管・配管系の供給制限

- ・塩ビ管は大口の数量（数百本）はメーカーにおいて出荷停止状態。見通し不明
- ・塩ビ管の必要数量の入手が困難、入荷のめどが立たず順番待ちの状態

■ その他

- ・銅管の納期が不安定
- ・分電盤（指定色塗装）受注停止、再開時期未定
- ・汚垂石が出荷停止、納期を回答してもらえない。

会員による今後の見通し

■ 今後の価格高騰が懸念される建設資材

- ・塩化ビニル管の3割程度の値上げ情報有り。時期は未定。
- ・押出発泡ポリスチレンフォーム断熱材4割、塗料・防水材・シンナー・シーリング材・接着剤も4割程度の値上げ情報あり。
- ・AS合材の更なる高騰が続く見込み（30～50%程度）。
- ・鋼材10～15%、アスファルト10～20%、電線・設備5～10%程度の追加値上げが見込まれる。
- ・合成樹脂系材類は7月から20～30%値上げの情報
- ・セメントについては、来年度もメーカーが値上げを発表している。生コンも価格が上がると思う。

■ 今後の供給不足・制限が懸念される建設資材

- ・断熱材・塩ビを使用する建材の生産量削減により、納品制限の情報あり。
- ・防水材、ウレタンフォーム断熱材、塩ビパイプ類、各種接着剤等の供給不足・制限が今後も見込まれる。
- ・AS防水材が供給不足で入手時期未定。
- ・アスファルト合材の出荷が出来ない可能性がある。
- ・アスファルト・電線・鋼材・設備機器で、出荷調整の強化や供給不足が強まり、納入時期未定・数量確保困難となる懸念がある。

■ 今後の入荷遅延が懸念される建設資材

- ・塩ビ管類の納入時期の確約がもらえない。
- ・断熱材（押出発泡ポリスチレンフォーム・EPS）は需要増により遅延継続の可能性が高い。
- ・ポリエチレン系断熱材は全く入ってこない。
現状より 改善される見通しなし。
- ・接着剤・床材用接着剤が生産量削減により納期末確定との情報あり。
- ・照明器具、電線・ケーブル類は入荷遅延が継続見込み
- ・鋼材・アスファルト・電線・設備機器で、現状の遅延に加え納期末確定の動きが見られる。

会員からの意見・要望等

(会員から寄せられた主な要望等)

■ 単品スライド条項・価格転嫁

- ・ 公共工事における単品スライド条項の柔軟かつ迅速な適用、代替資材使用時の設計変更手続の簡素化。
- ・ 公共工事のスライド条項における受注者負担1.0%の廃止・撤廃。
- ・ 単品スライドではなく、インフレスライド条項の活用や、毎月の単価推移に応じた柔軟な変更の仕組みが大切。
- ・ 単品スライドの適用ではなく、資材購入単価をそのまま適用するような柔軟な変更を要望。
- ・ 単品スライド条項など事務処理が大変なので、事務処理の簡素化を検討して頂きたい。

■ 設計変更・代替資材対応

- ・ 代替資材使用時の承認手続きや設計変更手続きの簡素化。
- ・ 供給不安が続くナフサ由来の建設資材について、代替品調達や調達経路見直しに伴う追加費用を設計変更で対応する運用が直轄工事で始まったと聞いている。民間工事でも同様に柔軟な対応をお願いしたい。
- ・ 代替資材使用に対しては発注者からの指示書にしていだきたい。(変更協議資料での対応「理由」が受注者側での負担になっている)。

■ 工期延長・工程管理

- ・ 公共・民間問わず全ての工事において、適切な価格転嫁と柔軟な工期延長が行われる環境整備。
- ・ 入荷できない場合の工事のストップへの了解。

■ 供給・調達環境

- ・ 不急な発注や在庫確保の抑制など、流通状況の改善に向けた協力が必要。
- ・ 都市部には材料が入るが地方には届かない。価格変動の速やかな反映、便乗値上げの是正、安定的な供給体制の確保、流通の目詰まり解消を要望。

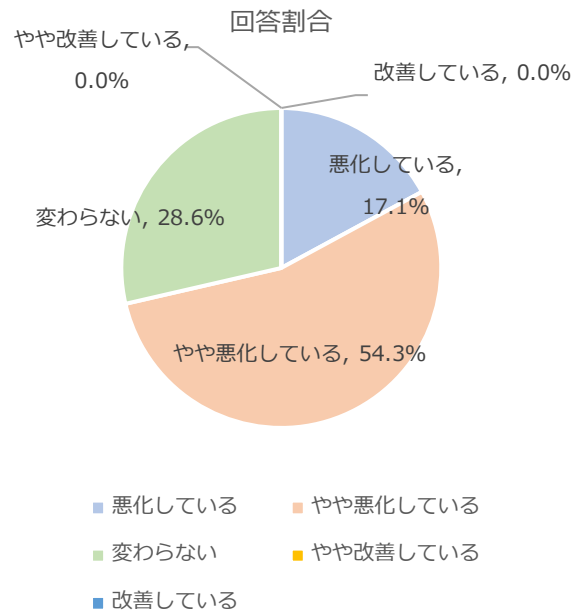
■ 見積・契約条件

- ・ 価格変動の大きい資材は、再見積もりなど適正な価格での最終変更をお願いしたい。
- ・ 積算上の市場単価と実勢単価との適用をスムーズにすり合わせてほしい。

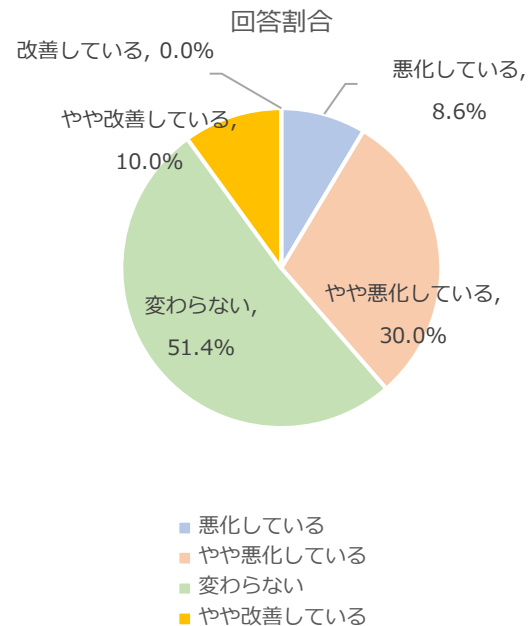
5月から6月の状況変化

- 価格の高騰は、「悪化している」及び「やや悪化している」の合計が71.4%と、最も悪化の回答が多い。
- 入荷の遅延は、「変わらない」が最多（51.4%）であるものの、悪化の回答も合計38.6%存在する。
一方で「やや改善している」が10%となり、改善の兆しがみられる。
- 供給不足・制限は、「変わらない」が最多（50%）であるものの、悪化の回答も合計35.7%存在する。
一方で「やや改善している」が14.3%となり、改善の兆しがみられる。

価格高騰の状況変化



入荷遅延の状況変化



供給不足・制限の状況変化

